

Information

LPC 国際プレフォーラム 2015 A Full-day Narrative Medicine Workshop in Tokyo

●リタ・シャロン教授を迎えて ナラティブ・メディスン 実践ワークショップ

日時▶6月21日(日)10:00-17:00

会場▶聖路加国際大学 301 教室

プログラム▶「物語の精密読解：村上春樹、カスオ・イシグロの作品を題材に」「創造的記述とパラレル・チャート実習」Rita Charon (Program in Narrative Medicine Professor of Clinical Medicine, Department of Medicine, College of Physicians & Surgeons of Columbia University)

※逐語通訳あり

定員▶60名

対象▶医療職、福祉職、対人援助領域の教員、研究者、学生

参加費▶会員 8000 円、一般 1 万円

申し込み方法▶FAX または E メールにて

問い合わせ先▶ライフ・プランニング・センター 健康教育サービスセンター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 5 階

☎ 03-3265-1907 (平日 9:00~17:00)

FAX 03-3265-1909

✉ lpc_seminar@lpc.or.jp

第 11 回 ICM アジア太平洋 地域会議・助産学術集会

日時▶7月20日(月)~22日(水)

会場▶パシフィコ横浜 (横浜市西区)

テーマ▶すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

プログラム▶

【7月20日】

市民公開講座「子育てと家族を支える原点を見つめる―難病の子どもと家族への支援を通して」大住力(難病の子どもとその家族の会へ夢を)/次世代育成事業「これからの日本で子どもを産むということ」河合蘭(出産ジャーナリスト)/自由集会①「母

乳育児支援」、②「女性の寄り添う助産教育を考える」、③「もはや産科では、子供は生まれない?『混合病棟』における分娩の安全と質を考える」、④「アジアアフリカの助産ケアを考えよう」、⑤「助産診断名の臨床への応用―電子カルテにどのように導入するか」、⑥「ベリネイタル・ロスのケア〜体験者の声を聴こう」/ワークショップ「Introduction to Research Methods」Judith McAra-Couper (ICM Research Standing Committee)/WHO Panel「Quality of Care-the Latest WHO Guidelines, Tools and Materials」

【7月21日】

会長講演「すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを」坂本すが(日本看護協会)/基調講演 Frances Day-Stirk (ICM)/特別講演 1「アジアにおける助産師活動支援―ベトナム助産師会とモンゴル助産師会の立ち上げから」南野知恵子(元参議院議員)、2「産科医療補償制度と周産期における医療安全」後信(日本医療機能評価機構)/教育講演「原著に学ぶクリステル胎児圧出法」池之上克(日本母性衛生学会)/ワークショップ「今、求められている産後ケア」市川香織(産前産後ケア推進協会、文京学院大学)、坂梨薫(関東学院大学)、萩原玲子(武蔵野大学附属産後ケアセンター桜新町センター)/「エビデンスを助産実践に活かそう」大田えりか(国立成育医療研究センター研究所)、村山綾子(東京大学大学院)、永森久美子(聖路加産科クリニック)/WHO Related「WHO-UNFPA workshop」「ICM-WHO workshop」「WHO workshop」

【7月22日】

シンポジウム「助産ケア―2 国間相互支援プログラム」谷口初美(九州大学大学院)、Speakers from Vietnam, Australia, Papua New Guinea/「災害に備えて母子支援をしよう」Karen Guillard (NZ)、Corazon L. Paras (Philippines)、真坂雪衣(石巻赤十字病院)、八木橋香津代(スズキ記念病院)/ワークショップ「日本の助産師の技を受け継ごう」山本詩子(山本助産院)、神谷整子(みづき助産院)、矢島床子(矢島助産院)/「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の活用〜取組事例

から学ぼう!」安田陽子(倉敷成人病センター周産期センター)、大城洋子(かみや母と子のクリニック)、久保絹子(東邦大学医療センター大森病院)、砥石和子(杏林大学医学部附属病院)、村田佐登美(愛仁会高槻病院)/「Making the Case for Midwifery: A Toolkit for Using the State of the World's Midwifery 2014 Report to Create Policy Change at the Country Level」/「The Global Fund Financing Facility in Support of Every Woman Every Child」Frances Day-Stirk

参加費▶通常事前登録(6月17日[水]まで):4万円、当日登録(7月20日[月]~7月22日[水]):5万円

※全登録期間において助産学生 5000 円、大学院生 1 万円

※Gala Dinner(7月21日[火] 18:00~20:30):別途 1 万円

申し込み・問い合わせ先▶第 11 回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会運営事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 6F 株式会社コングレ内

☎ 03-5216-5318

FAX 03-5216-5552

✉ icm2015aprc@congre.co.jp

※事前参加登録に関する問い合わせ先

✉ icm2015aprc-regi@congre.co.jp

http://www.icmaprc2015.org/

第 42 回日本リハビリテーション 工学協会車いす SIG 講習会 in 浜松

日時▶8月1日(土)・2日(日)

会場▶アクトシティ コングレスセンター (浜松市中区)

プログラム(コース選択制)▶「A. 活動性を意識した車椅子シーティングを考える」/「B. 高齢者・片麻痺者の生活に『生きる』車椅子を考える」/「C. 移乗・姿勢・移動を知って適合の実践を考える―車椅子の選択と生活・人生」

参加費▶1 万 2000 円、1 万 4000 円、1 万 6000 円、2 万円(加盟団体等により異なる)

詳細▶5月中旬ホームページに掲載、その後参加申し込み受付開始

※会員優先受付期間あり

申し込み・問い合わせ先▶事務局（深野栄子）

〒235-0033 横浜市磯子区杉田 2-7-20

☎ 045-352-8165

FAX 045-352-8166

<http://www.wheelchair-sig.jp>

日本地域看護学会 第18回学術集会

日時▶8月1日(土)・2日(日)

会場▶パシフィコ横浜会議センター（横浜市西区）

プログラム▶学術集会長講演「健康長寿社会に向けた地域看護学のグランドチャレンジ」田高悦子（横浜市立大学大学院）／特別講演「健康長寿社会に向けた地域ケア政策と人材育成における展望と課題」大森彌（東京大学、NPO法人地域ケア政策ネットワーク）／教育講演Ⅰ「地域を基盤にした生涯にわたる健康づくりとソーシャルキャピタル」山縣然太郎（山梨大学大学院）、Ⅱ「高齢者の健康と社会的ネットワークの形成に関する地域介入」芳賀博（桜美林大学）／シンポジウムⅠ「人口減少社会における新しい地域づくり—新しい公共の創出と協働」秋山正子（ケアーズ白十字訪問看護ステーション）、杉山昇（都市住宅とまちづくり研究会）、岸恵美子（帝京大学）、Ⅱ「すべての子どもが健やかに育つために—生涯に通じる子どものセルフケア能力の育成」朝倉隆司（東京学芸大学）、高橋ゆきえ（横須賀市児童相談所）、横山美江（大阪市立大学大学院）／ワークショップⅠ「科学としての地域看護学—質的研究について考える」高木廣文（東邦大学）、Ⅱ「地域に見える化と統計解析—地域看護学へのGISの応用」宮澤仁（お茶の水女子大学大学院）、Ⅲ「放射線による健康影響と災害支援のあり方（仮）」日本地域看護学会災害支援のあり方検討プロジェクト企画、Ⅳ「保健師の現任教育のあり方（仮）」日本地域看護学会教育委員会企画／理事会企画セミナー「医療介護確保推進法後の保健医療

福祉：地域看護領域へのインパクト（仮）」厚生労働省老人保健課（依頼中）／市民公開講座「遺品整理の最前線—命綱としての地域コミュニティ（仮）」小根英人（遺品整理士認定協会副理事長）／ランチョンセミナー①つながろう！完全非公開型ヘルスケア専用SNS—実践型ワークショップで、明日から地域包括ケアに即活用、②健康長寿と睡眠—より健康に、生き生きと毎日を過ごすための睡眠6箇条、③地域看護における地理情報システム（GIS）活用のススメ（仮）—自治体、教育機関、訪問看護ステーションのそれぞれの観点から、④高周波電磁界の健康リスク評価—WHOの国際電磁界プロジェクトを中心にして／アフタヌーンセミナー「次代を担う専門職人材育成—産学連携における入学前教育へのチャレンジ」／指定集会1「地域包括ケアシステムにおいて保健師が果たす役割を考える集会—保健師がみる・つなぐ・動かす地域包括ケアシステムとは」工藤禎子（北海道医療大学）、2「孤独死ではない在宅ひとり死を考える集会—どのような体制や仕組みがあれば在宅ひとり死は可能になるのか」柄澤邦江（長野県看護大学）／スチューデントカフェ「地域看護への招待—保健師・看護師・研究者が語る地域看護の実践とサイエンス」／プレセミナー「始めよう！強みを見い出す地域診断！」齊藤恵美子（首都大学東京）

参加費▶

（6月30日[火]まで）会員9500円、非会員1万円、院生を除く学生2000円

（当日）会員1万1000円、非会員1万2000円、院生を除く学生3000円

懇親会：（6月30日[火]まで）7500円、当日8000円

申し込み方法▶ホームページの申し込みフォームより

問い合わせ先▶

〈学術集会事務局〉横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

✉ jachn18@yokohama-cu.ac.jp

<http://jachn.umin.jp/meeting/m18/index.htm>

〈学会事務局〉日本地域看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1
オザワビル 2F ワールドプランニング内

☎ 03-5206-7431

FAX 03-5206-7757

✉ ckango@zfhw.ftbb.net

看護教育研究学会2015年夏季研修会 「教育と実践をつなぐ教員と実習指導者 との連携・協働のあり方と取り組み」

日時▶8月9日(日)10:00—16:00

会場▶東京通信病院（東京都千代田区）管理棟5階小講堂

講師▶今忍忍（東京家政大学）

研修の目標▶①臨地実習の現状を明確にする、②臨地実習の問題と課題を明確にする、③臨地実習における教員と実習指導者との連携・協働のあり方と取り組みを考察する。

内容▶講義（100分）、グループワーク（60分）、発表（60分）、全体討議（30分）

費用▶会員無料、非会員3000円

定員▶50名（先着順）

申し込み方法▶下記ホームページの「お問い合わせ」から専用フォームで申し込む。その際、メッセージ欄に「2015年夏季研修会参加希望」と明記し、会員は会員番号を、非会員は氏名・所属・連絡先を記入のこと。

問い合わせ先▶看護教育研究学会

<http://www.nihonkango.jp/Pages/kensyu.aspx>

第13回日本臨床医療福祉学会

日時▶8月27日(木)～29日(土)

会場▶ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（8月27日、名古屋市中区）名古屋国際会議場（8月28・29日名古屋市熱田区）

テーマ▶先進的地域包括ケア—その地域にふさわしい医療福祉の姿

プログラム▶特別講演／教育講演／海外招聘講演／オープニングセミナー／シンポジウム等

問い合わせ先▶

〈大会事務局〉 藤田保健衛生大学医療科学部

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪 1-98

☎ 0562-93-2167

☎ 0562-93-2906

〈運営事務局〉 オフィステイクワン

〒461-0004 名古屋市東区葵 3-12-7

☎ 052-930-6145

☎ 052-930-6146

✉ acjchw13@cs-oto.com

<http://www.cs-oto.com/acjchw13/>

第19回 日本看護管理学会 学術集会

日程▶8月28日(金)・29日(土)

会場▶ビックパレットふくしま (福島県郡山市)

テーマ▶乗り越える力・生み出す力ー苦境の中で発揮する看護管理

プログラム▶基調講演「乗り越える力ーファイアーズの挑戦ー」下山田敏博 (常磐興産株式会社) / 特別講演「2025年へのロードマップ」武藤正樹 (国際医療福祉大学), 「リーダーシップとホスピタリティー最前線のリーダーシップに必要なこと」竹中平蔵 (慶應義塾大学), 「プロとしてリーダーとしてー東日本大震災を振り返って」菊池臣一 (福島県立医科大学) / 教育講演「高齢社会が求める看護の力ー特定行為に係る看護師の研修制度をめぐって」中山洋子 (高知県立大学大学院), 「超高齢社会これからのチーム医療ー復興は教育からはじまる」細田満和子 (星槎大学), 「管理者のマネジメント力を向上させるーモチベーション・マネジメントの実際」永瀬隆之 (株式会社フェアアンドイノベーション), 「超高齢社会ー地域包括ケアで求められる看護の役割」川島みどり (日本赤十字看護大学 / 健和会臨床看護学研究所) / シンポジウム「安全・安心な都市づくりー郡山発コンパクトシティ」星北斗 (星総合病院 / 郡山医師会), 石堂常世 (郡山女子大学), 高橋京子 (福島県看護協会), 品川萬里 (郡山市長) / 「自然災害時に私たちができ

ること」石井美恵子 (東京医療保健大学) / 特別企画「対談: 震災を語る本当のことーラジオリスナーへのインタビューを通して」和合亮一, 開沼博 / 学会特別企画「コンピテンシーを基盤とした看護管理者研修プログラムー企画・実施・評価」

参加費▶(事前申込) 会員 9000 円, 非会員 1 万円 (当日申込) 会員 1 万円, 非会員 1 万 1000 円 ※学生 (大学院生除く) は事前・当日ともに 3000 円

申し込み方法▶詳細は下記ホームページを参照

申し込み・問い合わせ先▶第19回日本看護管理学会学術集会連絡事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-12-1 虎ノ門ワイコービル 株式会社コンベックス内

☎ 03-5425-1604

☎ 03-5425-1605

✉ janap19@convex.co.jp

千葉看護学会 第21回学術集会

日時▶9月12日(土)

会場▶千葉大学大学院看護学研究科 (亥鼻キャンパス / 千葉市中央区)

主なプログラム▶会長講演, 基調講演, パネルディスカッション, ランチミニ講座, 演題発表 (口演, 示説), 交流集会

事務局▶

✉ cans21.office@gmail.com

<http://www.cans-net.jp/society/21/>

第5回日本在宅看護学会 学術集会

日時▶11月22日(日)

会場▶聖路加国際大学 (東京都中央区)

テーマ▶「学」として考える在宅看護

プログラム▶学術集会長講演「生活の場に行く看護の歴史から在宅看護学を考える」山田雅子 (聖路加国際大学) / 特別講演「在宅看護の知の集積ー精神科訪問看護の発展に関わって」萱間真美 (聖路加国際大学) / シンポジウム 1「在宅看護を学とし

て教えることー多様な教育の現場から」小野若菜子 (聖路加国際大学), 小竹久実子 (順天堂大学), 平原優美 (あすか山訪問看護ステーション), 2「在宅看護の様々な実践は一つの学問となりえるのかー訪問看護, 退院支援看護, 高齢者施設内看護」成瀬昂 (東京大学), 宇都宮宏子 (在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス), 六角僚子 (東京工科大学) / 一般口演 / 示説 / 研究倫理セミナー他

詳細▶下記 URL を参照のこと

http://www.zaitakukango.com/shukai_5th/top.html

事務局▶

〒104-0045 東京都中央区築地 3-5-5 聖路加国際大学 2 号館在宅看護学研究室内

☎/☎ 03-6226-6382 (佐藤)

✉ zaitaku5th@slcn.ac.jp